

# 花子とハル 生き方に脚光



特別展では、村岡花子と賀川ハルについて紹介した写真パネルが展示されている＝神戸市中央区

NHK連続テレビ小説「花子とアン」のヒロインで翻訳家の村岡花子と、神戸で福祉活動に従事した社会実業家の賀川豊彦の妻、ハルの生き方に焦点を当てた特別展「花子とハル」が、賀川記念館（神戸市中央区）で開かれている。ハルは花子の親戚にあたる。同館は「ドラマを機に、賀川夫妻の神戸での活動を知ってもらえれば」と期待を寄せている。10月31日まで。

## 神戸で特別展、写真パネル50点

特別展では、花子が英語の使用を制限されていた戦時中に、防空壕に隠れて「赤毛のアン」の翻訳作業を続けたというエピソードや、花子やハルが夫に送ったラブレターなどを紹介した写真パネル約50点が展示されている。

このほか、賀川豊彦が、貧しい人のために、神戸で初めて無料の診療所を開設したことや、ハルとともに大正12（1923）年の関東大震災で被災者救援のため義援金集めに尽力したことなど賀川夫妻の活動も知ることができる。

同館ボランティアスタッフの横井幸雄さん（76）は「仕事への熱意や夫を献身的に支え続けた花子とハルの生き方を多くの人に知ってもらいたい」と話している。問い合わせは、同館（☎078・221・3627）。

## 福祉に尽力、賀川夫妻の活動も紹介